

事務事業名	資源物啓発事業	事業期間	1984 ~	年度	係内番号	09
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策 番号	03	基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進	実行計画の 施策の 柱にお ける指 標と の関連 度	中						
		基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進								
		実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0201	発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再利用（Recycle）の推進								
		項目		計画CD	計画名称	施策の 柱CD			施策の柱の名称					
予 算 事 業 名		資源物啓発事業費			会計コード	01	款	04	項	02	目	03	事業	02
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）		分別収集は、平成10年度より9品目16分類でスタートし、平成19年度から容器包装プラスチックを加え9品目17分類で、各地区のリサイクルステーションで地区環境自治会等の分別指導により実施しております。廃棄物の発生抑制を目的に、生ごみ処理機器の設置に対し補助金を交付し、生ごみ処理機器の普及を図る。												
現状と背景 （どうして）		平成10年に開始した資源物分別収集は、市民に定着し行われているが、資源物分別の精度には差があるのでレベルアップを図ること、分別方法の違う他市町村からの転入者へは、茅野市の分別収集の周知など、継続して資源物分別の徹底が必要である。												
目 的	受益者 （誰のために）	市民												
	対象 （直接働きかける）	同上												
	意 図 （どんな状態にしたいか）	ごみの減量と限りある資源の有効利用により循環型のまちを目指すために分別収集を徹底させる。												
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	1 転入者（転入手続き時）に「分別収集セット（リサイクルバック、ごみ袋セット、ごみ分別のてびき、ごみの出し方）」を配布 2 各世帯（区長宛文書、市関係窓口、不動産屋等を通じて）に「ごみの出し方」を配布 3 美サイクル茅野、環境自治会連合会との協働による分別収集研修会の実施 4 生ごみ処理機器等の購入支援（当初予算額：生ごみ処理機40台、コンポスター50台）													
	評 価 指 標 の 作 成	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
		1	分別収集研修会開催数	分別収集説明会開催数	回/年	年間の講習会の開催回数	10							
		2												
3														
変更履歴														
成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
	1	生ごみ処理機器の購入補助数	補助申請数	台	年間補助申請台数	90								
	2													
変更履歴														

実 施 状 況	項 目	単 位	2018年度(H30)		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
財 源 内 訳	事業費等(a)	円	1,034,385	1,900,000								
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	地方債	円										
	その他特定財源	円										
活 動 指 標	分別収集説明会開催数	回/年	10	5	10							
	達成率	%	50.00									
	目標											
	実績											
	達成率	%										
成 果 指 標	補助申請数	台	90	29	90							
	達成率	%	32.22									
	目標											
	実績											
	達成率	%										
備 考												

事務事業名	資源物啓発事業	事業期間	1984 ~	年度	係内番号	09
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	地区別分別収集説明会を開催することにより、資源物分別収集の精度を高め、ごみ減量を推進するために継続的に周知をする必要がある。				
	総合評価	<p>団体資源回収報奨金や生ごみ処理機器設置補助金交付事業を実施することで、市民のごみ減量に対する意識向上を図ることができる。</p> <p>資源物分別収集地区別研修会の全地区開催を目指す。生ごみ処理機器の普及促進を図る対策を検討する必要がある。</p>				
	改革・改善の方向性(ACIT)の策び内容	<p>地区別分別研修会を全地区で開催できるように環境自治会に働きかけ、連携してごみ減量を推進する。大型店駐車場に開設するリサイクルステーションを委託しているシルバー人材センター担当者の講習会を開催し、市民の分別に対する意識の向上を図る。また、生ごみ処理機器の普及促進を図る対策を検討する必要がある。</p>				
改革・改善の方向性(ACIT)の策び内容	<p>成果 コスト</p> <p>拡充 現状維持</p>					

作成担当者	金井和人				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	生ごみ堆肥化推進事業	事業期間	2001 ~	年度	係内番号	10
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策 番号	03	基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進	実行計画の 施策の 柱にお ける指 標との 関連度	中							
		基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進									
		実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0201	発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再利用（Recycle）の推進									
		項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称									
予 算 事 業 名	生ごみ回収・堆肥化処理事業費					会計コード	01	款	04	項	02	目	03	事業	03
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	可燃ごみの減量と食品廃棄物の有効活用を目指して、市内小中学校、保育園から出る生ごみを回収し、糞料有機センターで堆肥化処理する。全市を対象とした事業展開は断念したが新たな施策を検討する。														
現状と背景 (どうして)	可燃ごみが増加するなかで、可燃ごみの約3割を占める生ごみを分別することにより、可燃ごみの減量に大きな効果が期待されている。														
目 的	受益者 (誰のために)	市民													
	対象 (直接働きかけ る)	学校、保育園													
	意 図 (どんな状態にしたいか)	回収した生ごみを堆肥化処理し、可燃ごみ（生ごみ）の減量を進める。													
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	給食から出る生ごみを可燃ごみと分けて回収、堆肥化処理する。 市全体の生ごみ減量について研究を進める。														
	評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
1			生ごみを回収する公共施設数	回収施設数	箇所	堆肥化するための生ごみを回収する施設数				32					
2															
3															
変更履歴															
成果指標		成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	1	可燃ごみの減量	ごみ減量率	%	対17年度比				-25						
	2														
変更履歴															

実 施 状 況 （ D O ）	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)	円	4,659,000	4,697,000				
		国庫支出金	円						
		県支出金	円						
		地方債	円						
	その他特定財源	円							
	一般財源	円	4,659,000	4,697,000					
	活 動 指 標	回収施設数	目標	箇所	32	32			
			実績	箇所	32				
		達成率	%	100.00	-	-	-	-	
		-	目標	-					
	実績		-						
	達成率	%	-	-	-	-	-		
	成 果 指 標	ごみ減量率	目標	%	-25	-25			
			実績	%	-17				
達成率		%	68.00	-	-	-	-		
-		目標	-						
	実績	-							
達成率	%	-	-	-	-	-			
備 考	市全体の生ごみ回収事業の内容が決定していないため、回収量の目標値を設定することは現状にそぐわない。								

事務事業名	生ごみ堆肥化推進事業	事業期間	2001 ~	年度	係内番号	10
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	生ごみ堆肥化事業は、平成29年度から公共施設(小中学校・保育園)のみを対象として実施している。目に見える形でのリサイクルであることから、実施を継続することが必要である。				
	総合評価	量は少ないが、生ごみをリサイクルしていることを市民にPRするために事業の継続は必要である。 公共施設のみを対象としているが、市内全域の家庭を対象として実施の検討が必要である。 夢科有機センター事業の継続にあたっては、内容の転換、事業主体、経費の見直しが必要である。				
	改革・改善の方向性(ACIT)の策	現状維持 現状維持 生ごみ回収及び堆肥化を長期委託契約により実施している。契約期間が令和元年度で終了するため、今後の委託について検討が必要である。また、堆肥化施設の老朽化が進んでおり、施設更新についての検討も必要になっている。				

作成担当者	金井和人				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	茅野環境館管理運営事業	事業期間	2000 ~	年度	係内番号	11
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策 番号	03	基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高																																																												
		基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進																																																														
		実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0201	発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再利用（Recycle）の推進																																																														
		項目		計画CD	計画名称	施策の柱ID			施策の柱の名称																																																											
予 算 事 業 名		茅野環境館管理運営費			会計コード	01	款	04	項	02	目	03	事業	04																																																						
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）		平成12年に開設した「美サイクルプラザ」の運営支援。使わなくなったもののリユースを推進するための事業（市民から無償提供された不用品（リユース品）の引受・販売及び情報提供、古くなった和服をベストやブラウスなどとして再利用する講座や作品の製作等）の支援。その他、主に市役所開庁日の資料等の配布や生活環境に関する相談もを行っている。開設は火曜日～土曜日の週5日。運営業務はNPO「エコタウンちの」に委託している。																																																																		
現状と背景 （どうして）		平成9年の「美サイクル茅野」からの提言を受けて平成12年に設置。平成16年4月からは週5日の常設で運営しており、その業務をNPO「エコタウンちの」に委託している。（平成17年4月からは「茅野環境館」に移転した。）																																																																		
目 的	受益者 （誰のために）	市民																																																																		
	対象 （直接働きかける）	同上																																																																		
	意 図 （どんな状態にしたいか）	循環型社会実現のための活動拠点として市民に周知し、不用品のリユースに関する意識高揚を図る。																																																																		
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要物品、情報の提供</li> <li>・ 「広報ちの」への掲載、HPへの掲載、エコフェスタでの啓発活動</li> </ul>																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標</th> <th>行政が活動することで作り出すもの</th> <th>指 標 名 称</th> <th>単 位</th> <th>算出方法・計算式・目標値設定の考え方など</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>広報ちの等での掲載回数</td> <td>広報ちの等への掲載回数</td> <td>回</td> <td>定期12+1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>環境館開館日数</td> <td>開館日数</td> <td>日</td> <td>年間の環境館開館日数</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">変更履歴</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>成果・効果は何？</th> <th>指 標 名 称</th> <th>単 位</th> <th>算出方法・計算式・目標値設定の考え方など</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>茅野環境館来場者</td> <td>茅野環境館来場者</td> <td>人</td> <td>来場者数</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>茅野環境館情報登録件数</td> <td>茅野環境館情報登録件数</td> <td>件</td> <td>情報登録件数</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td colspan="6">変更履歴</td> </tr> </tbody> </table>															活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	1	広報ちの等での掲載回数	広報ちの等への掲載回数	回	定期12+1	13	2	環境館開館日数	開館日数	日	年間の環境館開館日数	250	3						変更履歴						成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	1	茅野環境館来場者	茅野環境館来場者	人	来場者数	11,000	2	茅野環境館情報登録件数	茅野環境館情報登録件数	件	情報登録件数	500	変更履歴				
活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値																																																															
1	広報ちの等での掲載回数	広報ちの等への掲載回数	回	定期12+1	13																																																															
2	環境館開館日数	開館日数	日	年間の環境館開館日数	250																																																															
3																																																																				
変更履歴																																																																				
成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値																																																															
1	茅野環境館来場者	茅野環境館来場者	人	来場者数	11,000																																																															
2	茅野環境館情報登録件数	茅野環境館情報登録件数	件	情報登録件数	500																																																															
変更履歴																																																																				

実 施 状 況 （ D O ） 備 考	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	3,074,653	2,833,000				
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	3,074,653	2,833,000				
	活動指標	広報ちの等への掲載回数	目標	13	13			
			実績	13				
		開館日数	目標	250	248			
			実績	250				
		達成率	%	100.00	-	-	-	-
		達成率	%	100.00	-	-	-	-
	成果指標	茅野環境館来場者	目標	11,000	11,000			
実績			9,625					
達成率		%	87.50	-	-	-		
茅野環境館情報登録件数		目標	500	500				
		実績	193					
達成率		%	38.60	-	-	-		

事務事業名	茅野環境館管理運営事業	事業期間	2000 ~	年度	係内番号	11
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性				
	成果				
	コスト				
	課長評価日				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 ( C H E C K )	<p>～成果変異動指要標因分～析</p> <p>来場者数は、前年度比較で700名程の減少となり、情報登録は前年とほぼ同数であった。 リサイクルショップ等の民間の事業者が増えていることが、要因として考えられる。</p>				
	<p>総合評価</p> <p>年間約1万人の利用がされており、商品リユース(販売)は約25,000件の実績がある。リユース・リサイクルの拠点施設として事業を継続して実施することが必要である。</p>				
	<p>課題</p> <p>広報ちのでゆずりあおうコーナーを設けているが、個人情報のやり取りを敬遠する傾向があることやリサイクルショップができて影響もあり、登録件数の増加は見込めない状況である。</p>				
改革・改善の方向性(AC T)	<p>翌年度方向性</p> <p>成果 現状維持</p> <p>コスト 現状維持</p>				
	<p>改革の方向性の内容</p> <p>施設のPRを強化することにより、施設の認知度を高める必要がある。環境館の利用内容の周知を広報・ホームページ・マスコミを通じたPRを実施することが有効である。</p>				

作成担当者	金井和人				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	資源物収集処理事業	事業期間	1998 ~	年度	係内番号	05
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策番号	03	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0201	発生抑制（Reduce）、再利用（Reuse）、再利用（Recycle）の推進		

予算事業名	資源物収集処理事業費	会計コード	01	款	04	項	02	目	02	事業	06
-------	------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
（簡潔にわかりやすく）  
一般家庭から排出される資源化できるごみを分別回収し、圧縮梱包等の中間処理を行った後、リサイクル事業者に引き渡す。

現状と背景  
（どうして）  
大量消費、大量廃棄の生活を改め、地球環境にやさしい循環型社会の形成を目指すことにより、限られた地球資源を大切に利用するため、従来は焼却埋立処分されていたごみも資源化が必要である。

目的  
受益者  
（誰のために）  
市民  
対象  
（直接働きかける）  
職員及び収集処理業者  
意図  
（どんな状態にしたいか）  
資源ごみのリサイクル化。

手段・方法  
（どうやって）  
ステーションに分別されて排出された資源ごみを市の委託業者が収集し、中間処理施設に運搬する。中間処理施設において、処理業務の委託業者が最終選別、圧縮梱包処理を行い、それぞれのリサイクルルートにより再資源化を図る。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		資源ごみの収集運搬	収集率	%	収集量÷排出量×100	100
	資源ごみの中間処理	中間処理率	%	中間処理量÷搬入量×100	100	
	資源物の分別講習会	地区別等分別講習会	回/年	年間の講習会の開催回数	10	
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	収集された資源ごみの再生	リサイクル事業者への引き渡し率	%	再生量÷ごみ搬入量×100	100
	2					
変更履歴						

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	117,765,605	118,038,000	
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	13,640,942	11,507,000			
	一般財源	円	104,124,663	106,531,000			
活動指標	収集率	目標	100	100			
		実績	100				
		達成率	100.00	-	-	-	-
	中間処理率	目標	100	100			
		実績	100				
		達成率	100.00	-	-	-	-
地区別等分別講習会	目標	回/年	10	10			
	実績		5				
	達成率	%	50.00	-	-	-	
成果指標	リサイクル事業者への引き渡し率	目標	100	100			
		実績	100				
		達成率	%	100.00	-	-	-
	-	目標	-				
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	資源物収集処理事業		事業期間	1998 ~	年度	係内番号	05
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係		連絡先	380	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	市からリサイクル事業者へ引き渡した資源物が、全品目で引取り基準を満たしていたため、全量引き渡すことができた。				
	成果	市内全リサイクルステーションにおいて、収集漏れがなく適正に行うことができた。				
	課題	資源物の分別の精度を高めるため、可燃ごみに含まれる資源ごみの分別について、地区の講習会等により啓発する必要がある。				
	改革・改善の方向性(ACIT) 策 び 容	<p>現状維持</p> <p>現状維持</p> <p>収集方法は現状を維持し、新たなリサイクルセンター稼働に合わせた、地区等分別講習会を開催し、更なる資源ごみの分別について啓発していく。</p>				

作成担当者	守屋正弘				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				